



2019年度 弘前学院大学 看護学部

第15回リカレント教育

1. 研修会テーマ 看護実践から見つけよう！研究テーマ！～学会で発表しよう～
2. 研修のねらい 看護研究を基礎から学びなおし看護実践で生じた問いを研究につなげることを目的に、学会発表までのプロセスを学ぶ機会を通し、看護職の交流を図る機会とする。
3. 主催 弘前学院大学 看護学部
4. 場所 弘前学院大学 看護学部棟 中講義室2
5. プログラム 別紙
6. 参加資格 青森県内医療機関および公的機関で業務を行っている看護師・保健師
7. 研修参加費 無料
8. 申込期日 当日参加も可能ですが、プログラム3日前までに申し込みをお願いいたします。
9. 申込方法 FAX（別紙FAX送信票）またはメールにてお申込みください。
10. その他
 - 1) 研修会は3回にわたって開催いたします。
 - 2) 関心のあるプログラム1回ごとの参加も可能です。
 - 3) 研究のすすめ方について、個別の相談を受け付けています。
「看護実践で生じた問い」から、ともに検討することが可能です。ぜひ、研修会の担当者にお話してください。希望のある施設には大学から出向くことが可能です。
11. 問い合わせ先（弘前学院大学 看護学部 事務室）
〒036-8231 弘前市稔町 20-7
電話 0172-31-7100 FAX0172-31-7101
E-mail kangojimu@hirogaku-u.ac.jp

2019年度 弘前学院大学 看護学部

リカレント教育研修会 会場案内

弘前学院大学 看護学部 住所 弘前市稔町 20-7



【交通案内】

- ☆ JR 弘前駅下車 弘南バス「小栗山線・狼森行き」 弘前三中前下車 徒歩約 20 分
- ☆ 弘南電鉄 大鱈方面から「弘前学院大学前駅」下車 徒歩約 10 分
弘前中央駅から「弘前学院大学前駅」下車 徒歩約 10 分
- ☆ 自家用車でカーナビを使用される場合は「弘前学院大学 看護学部」または「弘前市稔町 20-7」で検索をお願いいたします。
- ☆ 会場に迷われた時にはご連絡ください。

連絡先 弘前学院大学看護学部 20-7 ☎0172-31-7100

【会場案内 —キャンパスマップ—】



看護学部棟 (6号館) 1階 中講義室 2

2019年度 弘前学院大学 看護学部リカレント教育研修会

テーマ 看護実践から見つけよう！研究テーマ！ ～学会で発表しよう～

開催日時	プログラムⅠ	2019年9月 7日（土）	13:00～16:15
	プログラムⅡ	10月 5日（土）	13:00～16:15
	プログラムⅢ	10月 26日（土）	13:00～16:15

場 所 弘前学院大学 看護学部 中講義室2（弘前学院大学看護学部 20-7）

プログラムⅠ 2019年9月7日（土） 13:00～16:15

1. 『「なぜ？」から始める研究』

田中 真実（弘前学院大学看護学部 講師）

【講義概要】

研究には常に『なぜ？』から始まります。これまで私は沢山の臨床基礎研究を行ってきました。今回は、冠攣縮性狭心症患者さんの皮膚線維芽細胞を用いた病態解明と、更に、患者さんのiPS細胞を樹立し、血管の細胞を作製後、病態の解明を行った研究を紹介したいと思います。また、論文投稿時の簡単な統計処理を紹介する予定です。

2. 『実践に結びつく文献検索』

大瀬 富士子（弘前学院大学看護学部 教授）

【講義概要】

「こんな研究がしてみたい」という思いから実践につなげる第一歩！文献検索・文献検討は、全ての研究において必ず必要になります。研究を進めていくにあたってより有効な文献を、より系統的に探したり、効率的にかつ合目的に吟味していくことが大切になります。そこで「これまでどのような研究がされてきたのかな」「明らかになっていること、明らかになっていないことは何かな」ということを調べる方法をお伝えします。

3. 『妊娠・出産、産後へと切れ目のない支援』

古屋敷 智美（八戸市民病院 母性看護専門看護師）

【講義概要】

母子保健は生涯を通じた健康の出発点であり、次世代を育てる基盤となります。親子を取り巻く社会環境は変化し、虐待防止や子育て支援など地域ぐるみの母子保健活動が課題とされています。安心して子育てができるように、母子保健分野と子育て支援分野の両面から切れ目のない支援が求められ、そのためには、関係機関の連携と協働が必要となります。今回は医療機関の側から、切れ目のない支援をするために実践している現状をお話したいと思います。

プログラムⅡ 2019年10月 5日（土） 13：00～16：15

1. 『現場で役に立つ質的研究のすすめ方～質的データを実際に分析してみましよう！』

柳澤 尚代（弘前学院大学看護学部 教授）

【講義概要】

看護研究は、日ごろの看護実践の中から生まれる疑問や問題がその原点です。「もっと、看護の質を高めたい」、「仕事の方法を改善したい」といった現場での気づきを、科学的に探究するプロセスと言えます。研究活動には様々な方法がありますが、どのような方法も対象とする現象の本質をとらえたいと思って行われていることになりませ

ん。
現場で質的研究をする前に、そのプロセスをイメージできることをめざし、実際の質的データの収集、分析、結果、考察に関する講義に加えて、質的データを実際に分析する演習を予定しています。

2. 『糖尿病患者への透析予防指導の実際と難しさ』

土屋 陽子（弘前学院大学看護学部 教授）

【講義概要】

我が国の32万人をこえる透析患者のうちで、糖尿病を腎不全の原因とする患者は全体の4割超となっております。数年前から厚生労働省の主導のもと糖尿病患者さんへの透析予防対策が強化されており、その効果の兆しが見えてきておりますが、まだ十分とは言えない状況です。糖尿病医療・看護に長年かかわってきた経験から、さらなる透析予防指導対策の強化に向けて、その指導の実際と効果的な介入の難しさについてお話したいと思います。

プログラムⅢ 2019年10月26日（土） 13：00～16：15

1. 『現場で役立つ量的研究の進め方～失敗しないアンケートの作り方・まとめ方～』

舘山 光子（弘前学院大学看護学部 准教授）

【講義概要】

「研究として行うアンケートの作り方がわからない」「データは集まったけど分析できない」「結果の書き方がわからない」そのような経験はありませんか？臨床でも手軽に行われるアンケート調査ですが、聞きたいことをそのまま並べただけでは調査研究として成り立ちません。

今回は、看護研究として行うために必要なアンケートの作成のコツと、分析方法の選択、結果のまとめ方について、実際の事例も使用しながらお話ししたいと思います。

F A X 送信票

送信先 FAX 0172-31-7101

弘前学院大学 看護学部

大瀬富士子 あて

送信者 _____

連絡先 _____

2019 年度 リカレント教育研修会参加申し込み

以下のとおり参加申し込みをいたします。

	所属	氏名	プログラム		
			I	II	III
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

※当日参加も可能です。

※プログラムごとの参加も可能ですが、開始3日前までに申し込みをお願いいたします。

※資料は当日配布いたします。

※参加費は無料です

弘前学院大学 看護学部
〒036-8231 弘前市稔町 20-7
弘前学院大学 看護学部
電話 0172-31-7100 FAX0172-31-7101